

第六次大野市総合計画前期基本計画（素案）に係るパブリックコメントの結果について

1 パブリックコメントの実施状況

- (1) 案件名 第六次大野市総合計画前期基本計画（素案）について
 (2) 募集期間 令和2年11月30日（月）から12月14日（月）までの15日間
 (3) 意見提出状況 提出意見：12件（15個）、提出者：9人、提出方法：書面8件・電子メール4件

2 意見の概要とその意見に対する市の考え方

該当箇所	番号	意見の概要	市の考え方	修正
1：子育て p.3	1	大野市の子育て支援は、そんなに悪くないと息子から聞いている。もっとアピールしたらどうか。	ご意見として承ります。 大野市の若者が大野で結婚し、子育てをしたい、住み続けたいと思えるための施策として、「大野ですくすく子育て応援パッケージ」を推進しています。引き続き子育て世代の若者の心に届くような取り組みを進め、SNSなども活用した情報発信にも力を入れていきます。	なし
p.4	2	<みんなができること> ①夫婦一緒に協力し、楽しみながら家事や育児を行います。 ②家族一緒に食事をし、団らんの時間を持ちます。 ③子育て中や不妊治療を受けている人が柔軟に働けるよう応援します。 ④妊婦さんや子供連れの人に親切にします。 ⑤子どもが事故や犯罪に巻き込まれないよう地域で見守ります。	ご提案いただいた②と③のご意見について、次のように追加します。 ・楽しく食事をしたり、子どもの話をよく聞いた入りして、家族団らんの時間を持ちます。 ・子育て中や不妊治療を受けている人が柔軟に働けるよう応援します。	あり
2：学び p.5～8	3	子供、学び、児童生徒の教育環境の整備について 国の緊急教育政策として、教育のデジタル化がある。市としてデジタル教科書をどのように使い、今までの紙の教科書とのバランスをつけていくのか、	ご意見として承ります。 国の方針により、デジタル教科書が制度化され、紙の教科書を主に使用しながら、必要に応じてデジタル教科書を併用できるようになりました	なし

		<p>保護者は不安を持っている。学力や生活習慣に及ぼす影響も検証されていない状況で、安易に導入すると大問題を生むことになり、教育現場も混乱すると思われる。自治体が負担することになる費用は、コロナの影響で冷え込む経済のもとで大丈夫なのか。電子媒体を使いこなせる家庭は少ないのではないか。先進事例を収集し、有識者の意見も参考に、子どもたちが実験材料にならないように、大野市独自の教育理念の基にデジタル化を考えてほしい。</p>	<p>た。</p> <p>大野市においては、本年度末までに児童・生徒1人1台のタブレット端末が配置され、今後、デジタル教科書にも対応していきます。</p> <p>デジタル化に当たっては、教師や児童・生徒、家庭に過度の負担がかからないよう、また、児童・生徒間で格差が生じないように、配慮します。</p> <p>前期基本計画（素案）の施策1-②では、「情報活用能力や論理的思考力を育成するためにも、タブレット端末などのICT機器を効果的に活用します。」としています。</p>	
<p>8：商工業 p. 25～26</p>	<p>4</p>	<p><現状と課題></p> <p>(1)「現状①」と「課題①」について</p> <p>後継者不足により廃業となっているのは、小売店だけではないと思う。他の業種も含めて書かれてはどうか。</p> <p>(2)「現状⑦」について</p> <p>「電子・デバイス産業が地域経済を牽引し」との記述があるが、そういう実感がない。これが事実で、何かの統計調査から引用しているのであれば、それが分かるように記載した方がいいと思う。</p>	<p>現状について、記述を修正します。</p> <p>①経営者の高齢化が進み、後継者不足により廃業する<u>店舗</u>が出てきています。</p> <p>↓</p> <p>①経営者の高齢化が進み、後継者不足により廃業する<u>事業所</u>が出てきています。</p> <p>⑦市内においては、電子・デバイス産業が地域経済を牽引し、次いで金属産業、繊維産業が担っています。</p> <p>↓</p> <p>⑦商業統計調査や工業統計調査によると、地域経済を牽引しているのは、商業では飲食料品小売業、工業では電子・デバイス産業、次いで、金属・繊維産業となっています。</p>	<p>あり</p>

		<p><みんなができること></p> <p>①市内事業者や商工会議所、まちづくり団体、若者などが連携、協力して 商工業の振興に取り組みます。</p> <p>②企業において、積極的に大学や研究機関と連携し、新しい技術や製品を開発します。</p> <p>③大野のいいものをSNSなどで紹介します。</p> <p>④災害に備えBCPを策定するとともに、社内でも定期的に防災訓練を行います。</p>	<p>ご提案いただいた②と③のご意見について、次のように追加します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業においては、大学や研究機関と積極的に連携し、新しい技術や製品を開発します ・地元のお店を積極的に利用し、SNSなどで紹介します。 	
<p>9：観光業 p. 27～28</p>	<p>5</p>	<p>「課題④」に二次交通の充実を謳っているが、施策の記述がないので、次のとおり追加を提案する。</p> <p><施策1></p> <p>⑦貴重な二次交通としてのローカル鉄道である越美北線の利便性を高めると同時に、イベント列車等を企画し観光交通の主軸として活用する。</p>	<p>「貴重な二次交通としてのローカル鉄道である越美北線の利便性を高める」という点について、「16：公共交通」の施策を修正します。</p> <p>16：公共交通</p> <p>JR越美北線の利用促進を図るため、<u>関係機関や関係団体などが連携して利便性向上のための施策を検討するとともに</u>、定期券や回数券の購入に対し助成します。(施策1-①)</p> <p>なお、イベント等については、鉄道・バスの利用促進団体である「越美北線と乗合バスに乗る運動を進める会」が、沿線の大野市民、福井市民が日常的に越美北線を利用するきっかけ作りとして、公共交通機関で出かけるイベントや、事前申込みをすることで市民が無料で乗車できる臨時列車の運行などを行っています。</p>	<p>あり</p>

<p>10：働く環境 p. 31～32</p>	<p>6</p>	<p>私が勤務している社会福祉施設では、近年、人材確保が大きな課題となっており、将来を見据えて外国人雇用も検討をしていたが、コロナの影響で進んでいない。何とかして施設利用者を支援・介護するために、定年を65歳まで延長したり、支援・介護職員の処遇改善（夜勤手当の増額等）を行い、運営をしている。そのような中、新卒の若い方が年に1人程度、就職してくれるという状況である。</p> <p>勝山市は、平成29年度より、医療機関及び高齢者の介護サービス事業所の人材確保、定着のために、新卒者及び転入者を対象に、医療または高齢者介護の職場で働く介護職員に対して、3年間にわたり30万円の奨励金を交付する事業を制度化している。今年度から障害者施設も対象となった。大野市には、以前は新卒者に対して、支援金のようなものがあつたと聞いているが、社会福祉に就職する者とは限らずに、若者を応援するような支援事業があるとよい。障害者支援施設でも、利用者の高齢化による支援の負担が増加しており、若年層の力が必要となっている。ぜひご検討をお願いしたい。</p>	<p>ご意見として承ります。</p> <p>人手不足の解消は、福祉分野をはじめ、あらゆる職種で課題となっているため、関係機関が連携して、企業などによる多様な人材の確保や若者にも魅力ある職場環境づくりに支援し、働く人の市内定着に取り組みます。（施策1）</p> <p>また、「20：移住定住」の項目で記載のとおり、高校生や大学生への企業情報の発信や、Uターン者への仕事の情報に発信により、市内企業への定着に取り組みます。</p>	<p>なし</p>
	<p>7</p>	<p>コロナの影響で雇用状況にも影響が出ている。早く安心して働ける状況になってほしいと思う。</p> <p>（コロナで状況が変わっていますが）業績は良いのに、人手不足で事業継続が困難となっている事業者がある。この人手不足の状況が何とかならないかと思う。</p> <p>行政で、例えば、事業者の外国人労働者の受け入れに対し支援などはできないか。</p>	<p>コロナの影響による市内労働環境については、社会情勢と国や県の施策を確認しながら、必要な対応をしていきます。</p> <p>人手不足については、高齢者や女性、外国人など、多様な人材を確保するため、関係機関が連携して企業など取り組みを支援します。（施策1）</p>	

		<p><みんなができること></p> <p>①新しい技術も利用し、労働者が働きやすい職場をつくります。</p> <p>②学生などのインターンシップに協力します。</p> <p>③若い世代に魅力ある職場環境をつくります。</p> <p>④高齢者や障害者、外国人などさまざまな人が活躍できるよう環境を整えます。</p> <p>⑤幸せに働ける職場をつくるため、従業員の意見をよく聞き、職場環境を見直します。</p>	<p>ご提案いただいた②のご意見について、次のように追加します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生などのインターンシップに協力します。 	あり
<p>11：自然環境・ごみ p. 33～34</p>	8	<p>自然環境とりわけ河川環境についての記述がないため、以下、追加提案する。</p> <p><現状></p> <p>⑦河川空間は貴重な自然環境の残された場所ですが、護岸やダム等の整備で水生生物の移動・生息環境が阻害されています。</p> <p><課題></p> <p>⑧河川・ダム・砂防・用排水等の各管理者による施設とその環境の改善が必要です。</p> <p><施策></p> <p>2環境の美化<u>および自然の再生</u>と環境教育を推進します</p> <p>④河川・ダム・砂防・用排水の各管理者に施設とその環境の改善を求めるとともに、市と市民が共同して自然環境の再生を図ります。</p>	<p>ご意見として承ります。</p> <p>護岸やダムの整備は自然災害を防ぐために必要なものであり、国や県などの管理者に対して、自然に配慮した整備と適切な保全を求めています。</p> <p>施策2－①に、河川やダムなどの管理者や市民との連携についての記述を追加します。</p> <p>①豊かな自然を活用した体験型の環境教育や啓発活動を推進します。</p> <p>①<u>関係機関が連携し</u>、豊かな自然を活用した体験型の環境教育や啓発活動を推進します。</p>	あり

<p>14：消防・減災 p. 45～46</p>	<p>9</p>	<p>現状③に対する「課題④」について、以下、追加・修正提案する。</p> <p><課題></p> <p>④赤根川改修事業は、河川整備計画に位置付けられているにもかかわらず、利水等の地元調整が進展しないため、事業着手できていません。一方、国・県においては、河川改修だけでなく、流域全体で減災に取り組む「流域治水」への転換を謳っています。</p> <p><施策></p> <p>1－③</p> <p>赤根川の流域において、<u>流域治水の各種施策の検討を進めるとともに、利水等の地元調整を進め、早期に事業着手するよう県に要望していきます。</u></p> <p>1－④</p> <p><u>清滝川の流域においても、流域治水の各種施策の検討を進めるとともに、浚渫や伐採などを着実に進め、早期に河川整備計画に位置付けるよう県に要望していきます。</u></p>	<p>本年度、国が主体となり、国や県の関係機関と流域市町を構成員とした九頭竜川流域治水協議会が設置され、流域全体で水害を軽減させる流域治水を計画的に推進することとしていることから、流域治水についての記述を追加します。</p> <p>課題の追加</p> <p><u>⑤水害リスクの増大に備えるため、流域全体で水害を軽減させる流域治水を進める必要があります。</u></p> <p>施策の追加</p> <p><u>③国や県、流域市町などあらゆる関係機関が協働して、九頭竜川水系の流域全体で水害を軽減させる流域治水に取り組みます。</u></p>	<p>あり</p>
<p>15：道路 p. 47～48</p>	<p>10</p>	<p><施策></p> <p>「施策2－①」において、「(道路を)計画的に整備します。との記述では、改善方策が不明確なので、以下の記述に改める。</p> <p>①生活道路や通学路などの利便性と安全性を確保するため、道路空間の再配分により、歩行者の優先化を図ります。(路肩を広げ、車道を狭める等)</p>	<p>ご意見として承ります。</p> <p>道路整備の中には、道路空間の再配分の他に交通安全施設の整備や道路拡幅、側溝改修なども含んでいますので、具体的な改善方策について総合計画では記述していません。</p>	<p>なし</p>

<p>16: 公共交通 p. 49～50</p>	<p>11</p>	<p>「施策1-①」において、「定期券や回数券の購入に対し助成します」との記述だけでは、不便な状況は改善できないので、以下の記述に改める。</p> <p>< 施策 ></p> <p>① JR 越美北線の利用促進を図るため、県や事業者の協力のもとに利便性を向上させるとともに、定期券や回数券の購入に対し助成します。(便数の増等)</p>	<p>次のように施策を修正します。</p> <p>① JR 越美北線の利用促進を図るため、<u>関係機関や関係団体などが連携して利便性向上のための施策を検討するとともに、定期券や回数券の購入に対し助成します。</u></p>	<p>あり</p>
	<p>12</p>	<p>子供は和泉地区より勝山まで通学している。通学に公共機関を利用したいが、越美北線・市営バス共に大野駅での京福バスとの乗り継ぎができない。現在は大野駅までは自家用車を使用し、その後京福バスにて勝山まで通学している。帰りは京福バスと越美北線を利用している。京福バスの本数についても少ない上に、バスの遅れなどがあり、朝1番のバスに乗っても定刻には到着せずに遅刻してしまうため、子供は勝山駅を迂回する手前で下車して、正規の使用できる切符の範囲より短い距離で降りて歩行にて高校まで通学している。バスが定刻に到着し登校の時間に間に合うのなら勝山高校まで乗車したいが、それでは遅刻してしまう。通学の時間だけでも路線変更(勝山駅経由はしない)の案も考慮して欲しい。勝山の市バスがあるため、その路線では勝山駅で下車する乗客はほとんどいないそう。京福バスの利用促進につながると思うので、検討して頂きたい。公共機関の運行は、住民の実際の利用に基づいて決定するよう、希望等を事前に確認していただきたい。</p>	<p>次のように施策を修正します。</p> <p>① JR 越美北線の利用促進を図るため、<u>関係機関や関係団体などが連携して利便性向上のための施策を検討するとともに、定期券や回数券の購入に対し助成します。</u></p>	<p>あり</p>

		<p>また、バスの定期券や回数券が高額なため、市で助成金などを考えて頂けるとありがたい。大野駅から勝山高校までの定期券は3ヶ月49,590円で、年間約20万円の負担になる。京福バスの助成金などは、勝山から大野への通学時は勝山市から助成金があるため、勝山市民は制度を利用している。JR越美北線の助成は利用させて頂いている。</p>		
17 : ひと・地域 p. 51～52	13	<p>担い手不足など暗い内容が多いが、和泉自治会のように、人口が少なくても頑張っている地区もあるので、そのような事にも触れてほしい。</p>	<p>人口減少が進む中においても、自治会や地域団体による地域活動が実施されている状況について、現状に記述を追加します。</p> <p>現状に追加 <u>①市内各地区で、住民主体の地域運営や地域づくり活動が行われており、地域の課題解決に向けた新たな取り組みも見られます。</u></p>	あり
全般	14	<p><みんなができること> 「ひと・地域」 ①地域の歴史や文化を若い世代に伝えます。 「地域福祉」 ②障害のある人が安心して生まれ育った地域で生活できるよう、みんなが障害についての理解を深めます。 ③困ったことがあったら、個人や家族だけで抱え込まず、地域の民生委員や市の窓口にご相談します。 「スポーツ」 ④名水マラソンなど、スポーツ大会開催時にボランティアとして参加します。</p>	<p>ご提案いただいた③、④、⑤、⑥、⑨のご意見について、次のように追加します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・困ったことがあったら、個人や家族だけで抱え込まず、地域の民生委員・児童委員や市の窓口にご相談します。 ・名水マラソンやインターハイなどのスポーツイベントやスポーツ大会にボランティアとして参加します。 ・必要のないものは買わずに、ごみの量を減らします。 ・エコマーク付き商品など、環境に配慮した商品を買います。 	あり

	<p>「自然環境・ごみ」</p> <p>⑤必要のないものは買わずにごみの量を減らします。</p> <p>⑥エコマーク付き商品など、環境に配慮した商品を買います。</p> <p>⑦節電や節水など、省エネ活動に取り組みます。</p> <p>「文化芸術」</p> <p>⑧地域の歴史に関心を持ちます。</p> <p>⑨市の博物館や美術館、音楽会や講演会などに積極的に見たり聞いたりします。</p>	<p>・市内で開催される美術展や音楽会、講演会などに積極的に参加します。</p>	
15	<p>24の多岐にわたる項目の施策について、市民だれもがその通りだと思っていると考える。今までにもこのような施策があったと思いますが市民の方々に伝わっていたのかどうか、疑問に思う。</p> <p>さまざまな施策が市民一人一人に見えていたのか。施策の見える化などをすることで、もっと市民を巻き込む取り組みをすることで、この施策も生きてくると思う。</p>	<p>ご意見として承ります。</p> <p>市民の皆さまと計画や施策の情報共有を積極的に行い、協働して各種施策の推進に取り組んでいきたいと考えています。</p>	なし